

平成 25 年度

事業報告

社会福祉法人 名東福社会

目 次

名東福祉会のミッション	2
事業機構	4
利用者の状況	6
デイケア事業	12
メイトウ・ワークス	
天白ワークス	
はまなす	
レジデンス日進／ハートフルアクト日進	
ナイトケア事業	21
児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業	24
相談支援事業	26
サービス品質の向上を目指した取り組み	34
安全委員会・安心委員会・接遇委員会・給食委員会	
新規職員研修・マネージャー研修	
機関誌「WORKS」編集部	
施設・事業所一覧	

名東福祉会のミッション

● 名東福祉会のミッション（使命）

名東福祉会の使命は、東部名古屋地域の障害者ケアと、障害者ケアに関するあらゆるサービスを提供することを目的とする。

名東福祉会は障害者のクオリティオブライフを高めるため、名古屋市東部地域において、障害者のための継続的ケアを提供し、利用者の自由と自立の実現をめざす。

● 福祉サービスの基本的考え方

（1）健康

- ・利用者のクオリティオブライフを最優先した福祉サービスを提供する。
- ・利用者が可能な限り健康を維持・増進することができるように支援する。
- ・提供サービスの質を向上させるためにリスクマネジメントを行う。

（2）自己決定の支援

- ・地域に福祉団体と人の支援ネットワークを形成し、多様なプログラムによって利用者の生活を支える。
- ・生活スタイルを自ら選択することができるように支援する。
- ・利用者とその家族が設定した目標の実現に向けて多角的な支援を行う。
- ・利用者のニーズにあったプログラムの選択が可能なように柔軟な対応を実現する。

（3）個別支援計画にもとづいた処遇

- ・施設の運営方針と利用者のニーズに基づき、ニーズを満たすために必要な個別支援計画を立案する。
- ・個別支援計画の立案にあたっては、できる限り利用者本人・利用者の家族または親権者・障害者福祉に関わる専門家とともにこれを作成し、提供されるべき個別支援計画決定し、利用者、家族、職員、地域社会相互の満足を実現する。
- ・個別支援計画によって設定された目標の達成度を常にチェックする。
- ・関係機関が利用者のニーズと支援技法に関する情報を共有し、支援内容を継続的に改善する。

（4）提供サービスの妥当性の確保

- ・利用者の権利を護るため自己チェック体制を整える。
- ・利用者とその家族がいつでも正当な権利を行使することができるようにサービスのあり方を常に見直す。
- ・情報公開に努める。

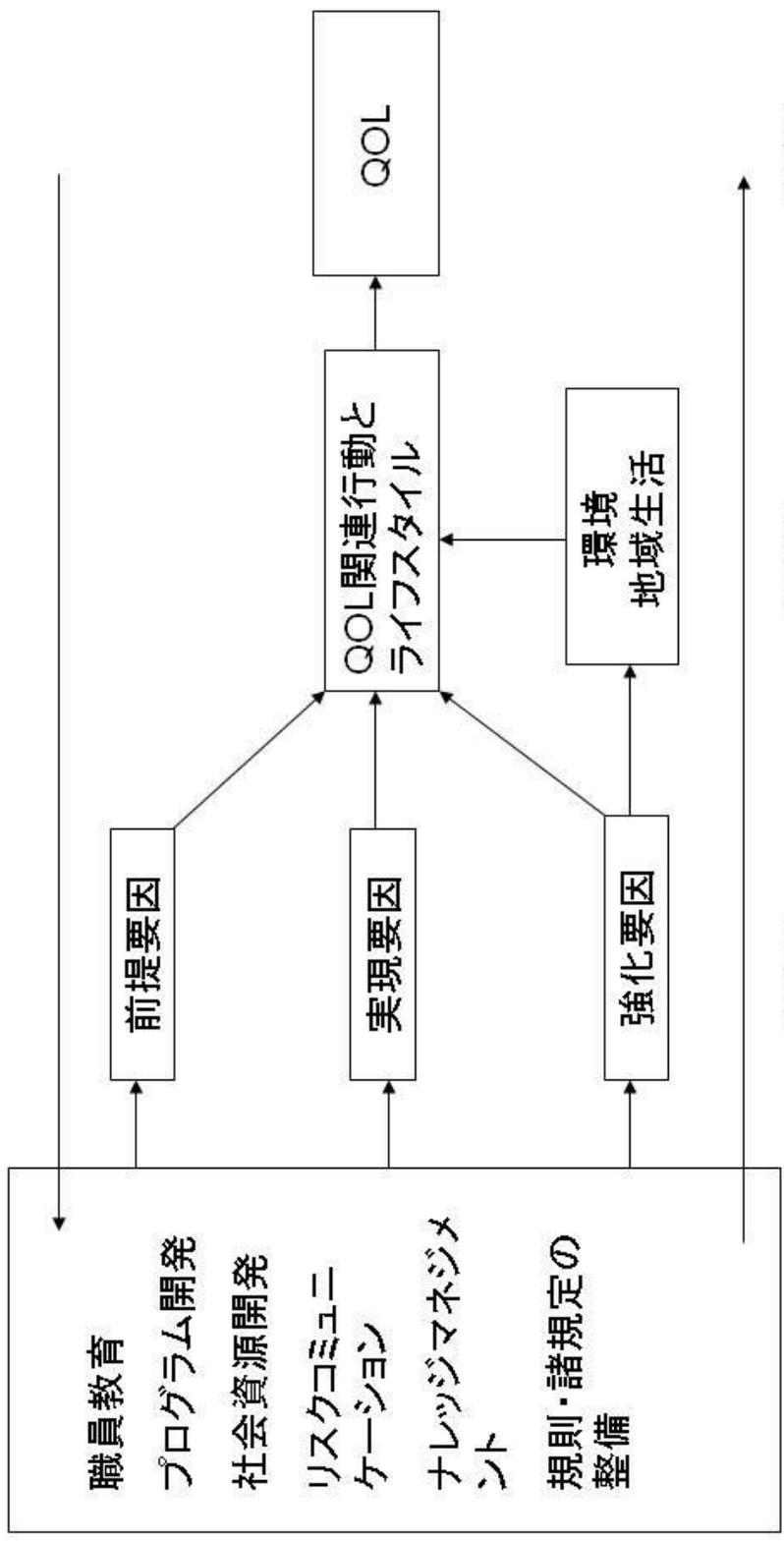
利用者のクオリティ・オブ・ライフの改善モデル

第一段階
社会的診断

第二段階
行動と環境の診断

第三段階
応用行動分析

第四段階
経営政策決定



第五段階
経営政策診断

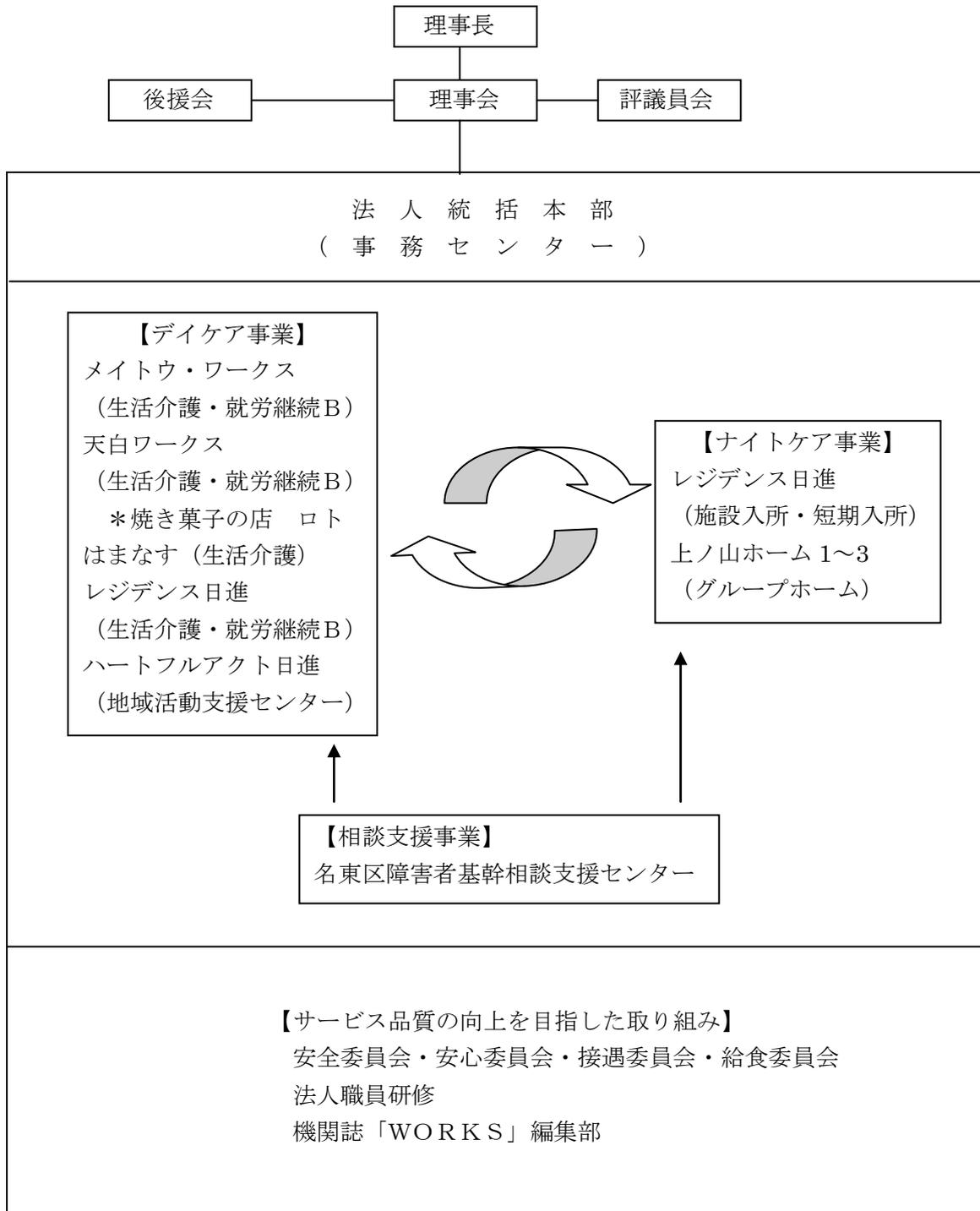
第六段階
各要因の効果測定

第七段階
行動と環境の効果測定

第八段階
QOL診断

事業機構

1. 機構図



2. 職員構成（平成26年4月1日現在・計79名）

	理事長	本部長	事務員	所長	支援員 相談員		看護師	栄養士	医師	
					男	女				
法人全体	1	1	3	5	30	35	2	1	1	
メイトウ・ワークス				1	2	6	(1)		(1)	
天白ワークス				1	5	4	(1)		(1)	
はまなす				1	3	5	(1)		(1)	
レジデンス日進				1	19	16	1	1	(1)	
ハートフルA日進				(1)						
上ノ山ホーム				(1)						
名東区基幹C				1	1	2				
指定相談はまなす				(1)		2				

* レジデンス日進の支援員および栄養士、また看護師は、常勤換算前の実人数

* () は兼務

利用者の状況

(平成 26 年 4 月 1 日 現在)

名東福祉会は現在、約 250 名の方々から利用契約をいただき、名古屋東部地域を中心に、障害福祉サービスの提供を行っています。

障害をもった方々の生活をトータルに支援できるよう、事業所間の連携を強化して利用者のニーズに応えていきたいと考えています。

1. 年齢分布

(1) 成人対象事業

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス			1	3	3	5	4	5	11	6	2	1	41
天白ワークス	1	1	3	1	6	2	3	3	6	4	3	2	35
はまなす	1		2		3	1	9	4	2	1	1		24
ハートフルA日進					1			1	2			1	5
レジデンス日進					2	2	6	4	12	7	1	5	39
上ノ山ホーム					2	1	5	2	7	3	4	3	27
法人全体	2	1	6	4	17	11	27	19	40	21	11	12	171
	3		10		28		46		61		23		

(2) 児童発達支援・放課後等デイサービス事業

	～2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
たけのこの家					6		9	3	4	1			23

2. 居住（出身）地分布

(1) 名古屋市市内分

	名古屋市														
	名東	天白	緑	千種	昭和	守山	瑞穂	中村	中川	南	港	北	中	東	熱田
メイトウ・ワークス	28			1	1	3			1					1	
天白ワークス	2	15	4		4				1	2					
はまなす	15	4		1	2	1	1								
ハートフルA日進		1													
レジデンス日進	5	7	5	1	1	2	1	1	1	1	1		1		
上ノ山ホーム	4	7		1	4	1	1	1		2					
たけのこの家	2	3	3				1		1			2			1
法人全体	56	37	12	4	12	7	4	2	4	5	1	2	1	1	1

(2) 名古屋市外分

	名古屋市外								市内 小計	合 計
	日 進	春 日 井	尾 張 旭	瀬 戸	江 南	他 県 内	県 外	小 計		
メイトウ・ワークス	4		1			1		6	35	41
天白ワークス	6	1						7	28	35
はまなす								0	24	24
ハートフルA日進	2					2		4	1	5
レジデンス日進	6		2	1	2	1		12	27	39
上ノ山ホーム	1	1	1	1		2		6	21	27
たけのこの家	2					8		10	13	23
法人全体	21	2	4	2	2	14	0	45	149	194

3. 障害の程度：障害程度区分認定結果

	1		2		3		4		5		6		計 (平均)
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	1		1	3	5	6	5	5	6	1	3	5	41(4.0)
天白ワークス			1	2	6	2	9	4	5	4	1	1	35(4.0)
はまなす					2		4	1	7	3	5	2	24(4.9)
レジデンス日進					1		4	4	8	7	8	7	39(5.1)
上ノ山ホーム			4		4	2	7	4	3	2		1	27(3.7)
法人全体	1	0	6	5	18	10	29	18	29	17	17	16	166
	1		11		28		47		46		33		(4.3)

4. 障害の種別

(1) 主たる障害

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	8	7	1	4	10	8	2	1	41
天白ワークス	12	4	5	1	5	8			35
はまなす	12	1	4	2	2	2		1	24
ハートフルA日進		1	1		2	1			5
レジデンス日進	13	6	1	1	6	9	1	2	39
上ノ山ホーム	10	5	1		7	4			27
たけのこの家	18	4			1				23

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重度心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
法人全体	73	28	13	8	33	32	3	4	194
	101		21		65		7		

(2) 重複障害

	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		延計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	4	2			1		1	2	1		11
天白ワークス	1	2			1		1				5
はまなす		2		1				1			4
ハートフルA日進											0
レジデンス日進	3	2				1	1	1			8
上ノ山ホーム					1	1			3		5
たけのこの家			2		1						3
法人全体	8	8	2	1	4	2	3	4	4	0	36
	16		3		6		7		4		

5. 利用期間

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	2					3	6	6	2	2	11	9	41
天白ワークス			3	5	4	1	9	1	1	4	5	2	35
はまなす			2				4	2	2	2	10	2	24
ハートフルA日進													0
レジデンス日進	1	1	4	5	3		2	1	11	11			39
上ノ山ホーム	1	1	8	8	9								27
たけのこの家	4	3	14	2									23
法人全体	8	5	31	20	16	4	21	10	16	19	26	13	189
	13		51		20		31		35		39		

6. 月別平均利用者数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	37	32.4	32.0	34.0	34.0	33.4	34.4
天白ワークス	35	32.5	31.6	32.4	33.0	32.8	33.5
はまなす	30	23.5	23.1	23.7	23.5	23	23.4
ハートフルA日進	15	0	0	0	0	0	0
レジデンス日進	40	38.6	37.9	38.8	38.9	38.1	38.7
上ノ山ホーム	27	26.1	25.8	25.5	26.1	25.5	25.9
たけのこの家	10	4.6	4.5	5.2	—	—	—

10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度平均	前年度平均	
32.4	33.4	33.4	33.3	33.3	33.7	33.3	34.7	メイトウ
33.3	32.9	33.1	32.3	31.8	31.7	32.6	31.6	天白W
23	22.7	22.7	21.9	21.6	21.8	22.8	22.7	はまなす
0	0	0	0	0	0	0	0.7	ハートフル
38.8	38.9	37.9	35.5	38.8	38.6	38.3	37.0	レジデンス
26.1	26.1	25.2	23.5	26.3	26.0	25.7	22.6	上ノ山H
—	—	—	—	—	—	4.8	6.9	たけのこ

* はまなすは、地域との話し合いで、25名程度の利用を目安としている

* 上ノ山ホームは算出上、週末帰省日は除外

* たけのこの家は6月で事業終了

7. 短期入所事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
148	123	129	143	121	139	142	141	149	131	133	135	1634

8. 日中一時支援事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5	1	3	5	4	4	6	4	5	4	4	4	49

* 日中一時契約市町村：名古屋市・日進市・長久手町・尾張旭市

9. 通所施設時間延長サービス利用者数 (16:00~17:00)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス			1	1		1
天白ワークス	1			1	1	
はまなす	4	5	2	3	3	1
法人全体	5	5	3	5	4	2

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	1					4	メイトウ・ワークス
			1	1		5	天白ワークス
10	7	7	8	6	5	61	はまなす
10	8	7	9	7	5	70	法人全体

デイケア事業

名東福祉会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの提供を目指してきました。

人の暮らしの質を考える場合、やはり日中の過ごし方の重要性は第一と言えます。施策や制度の動向を踏まえながらも、利用者のニーズに基づくサービス提供の姿勢を保ち、多様な選択肢をご提案していきたいと考えています。

メイトウ・ワークス

1. 各事業共通

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	陶芸	縫製	下請他	計
平成25年度	287,626	1,960,396	365,614	2,613,636
平成24年度	268,250	1,685,582	929,898	2,883,730

(2) 作業内容

● 縫製作業

変身ぬいぐるみの製作。全国の保育所や子育てサークルから注文を受ける。作業工程が多く、能力に合わせた作業があり、多数の利用者が参加する。

● 陶芸作業

動物はし置き、季節の人形、お皿などの小物陶器を製作。土に触れる、型抜き、製作、素焼きの絵付け、焼成後の仕上げなど多くの作業がある。

● 下請け作業

自動車部品の組み立て、部品の袋詰めなど、作業内容が明確で利用者に分かりやすいプログラム。

(3) 利用者給与支給状況

- ・就労継続支援B型 時給70円(上半期75円、最も多い方で8,060円/1月) 夏冬賞与(最も多い方で15,730円)あり。
- ・生活介護 日給100円(上半期150円)夏冬賞与あり。
- ・工賃総額 1,725,615円

(4) レクリエーションプログラム・イベント

レクリエーションプログラムは生活介護を中心に行っているが、交流行事は全体で取り組んだ。

○季節行事

七夕会・クリスマス会(ポケットの会)・バレンタイン(めいとう朗読会)

○リラクゼーションプログラム

○音楽療法

○全体行事

- ・春まつり(厚生院)
- ・家族会ボランティア交流会
- ・あそび広場(高針北保育園)
- ・書初め発表会

(5) 地域交流

年間延べ470名のボランティアに来所いただいた。作業やイベントに参加いただき、利用者との関わりを深めた。

厚生院「春まつり」・高針北保育園「あそびひろば」に招待参加。名東の日（区民まつり）平和の丘春まつり、めいとう福祉まつり、エコフェスタ、名東高校学園祭など地域で行われるイベントバザーに参加して交流を行った。

(6) 地域貢献

地域の町内会や子供会、障害者グループの陶芸教室などに休業日や夕方、施設の空き部屋を解放、年間延べ48団体が利用した。また、施設の駐車場を南自動車図書館の巡回ポイントとして利用いただいた。

地域の中学校から福祉体験や職場体験、大学生の介護体験や名古屋市職員の新人研修、福祉専門学校の実習など随時受け入れた。

2. 就労継続支援B型事業

通所による就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力を身に付けられるよう支援した。時間厳守や報告・相談を重視すると共に、作業の準備から納品まで自主的に行動できるようになってきた。また、社会の要請に応じて、完成度の高い作業を行えるよう配慮している。

3. 生活介護事業

作業を中心とした活動を行うことで、社会参加と日中生活が安定するよう支援した。余暇支援として、季節行事、ウォーキングプログラム、リラクゼーションプログラムとして足湯やアロマセラピー、音楽活動など行った。

天白ワークス

1. 各事業共通

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	陶芸	焼き菓子	精米	下請け他	計
平成25年度	1,156,037	2,186,101	349,480	904,749	4,596,367
平成24年度	1,384,689	1,918,398	338,380	1,356,019	4,997,486

(2) 作業内容

● 陶芸

食器(コップ・皿)、置物、マグネット等を製作。形成、水拭き、絵付け・釉掛け、仕上げを行う。

● 焼き菓子

店舗兼製造場の「焼き菓子の店ロト」でクッキー・パウンドケーキ等の焼き菓子を手作りで製造し販売している。材料の準備、計量、生地づくり、成形、袋詰め、包装の工程を、利用者が役割分担している。

● 精米

市内の米問屋から仕入れた近隣の地区で収穫された玄米から、虫食いの米・草の実を選別後、計量・袋詰めして販売している。注文を頂いてから白米にしている。

● 下請け

部品の組み立て、製品の袋詰め等、工程がわかりやすく、納期に余裕がある作業を導入している。作業工程を細分化・構造化することで、多くの利用者が参加している。

(3) 利用者給与支給状況

生活介護 100円／日

就労継続支援 基本給・評価給

夏・冬賞与あり

工賃総額 1,746,925円

(4) レクリエーションプログラム・イベント

生活介護を中心に行っているが、バスハイク・交流会・クリスマス会は、就労継続B型の利用者も会議による話し合いによって参加を決めている。

● グループハイク

グループ別に場所や内容を選んで参加

● バスハイク

バスを利用して行楽地へ外出

● 音楽療法

月2回 講師によるミュージックケア 2グループに分けて利用

● 家族交流会

利用者・家族・ボランティア・職員の交流を目的に実施。今年度は運動会形式にて行った。

- クリスマス会
ゴスペルグループによるクリスマスコンサート
- スポーツ大会
ソフトボール大会、フットベースボール大会に参加

(5) 地域交流

天白区区民まつり。

あけぼの学園の祭り（夏・秋）

日進チャレンジド夏祭り

近隣にお住いのボランティアさんが活動の可能な日・時間で参加いただいている。

(6) 地域貢献

中学生の1日体験学習(日中活動を一緒におこなう・事前訪問での事業所の紹介・説明)

教職課程履修の大学生の介護体験実習

介護職員基礎研修(ハローワークと提携した研修機関からの社会資源実習)

2. 就労継続支援B型事業

作業をし、給与をもらい、余暇活動を楽しむことを流れとして理解して頂けるように支援を行った。

工賃に評価給を導入し、正確に継続的に作業することの意味や大切さを意識していただけるよう支援した。

月1回の会議で仕事、対人関係や余暇活動等の日程や参加を話し合いで決めた。

(利用者が司会・記録を務めている)。

3. 生活介護事業

利用者の個々の特徴(コミュニケーションスキル、介護度、活動)に合わせたグループ別に、作業を提供した。

作業を通じて社会とつながり、貢献していくことを目指した。

健康支援としてウォーキング、リフレッシュプログラムとして散歩をおこなった。

はまなす

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	下 請
平成 25 年度	118,830
平成 24 年度	140,265

(2) 作業内容

ポケットティッシュの包装、ナット・ワッシャーの袋詰め、ボルトのナット止め

(3) 利用者給与支給状況

500 円/月 工賃総額：141,500 円

(4) レクリエーションプログラム・イベント

● 散歩

公用車を使用して近隣の公園や公共施設まで出かけ、散歩、散策を行った。気分転換、健康増進、一般の方々との交流などを目的に、午前、午後とメンバーを替え実施した。

● 通常のレクリエーション

毎日午後の時間帯にゲーム、カラオケ、リラクゼーション、スポーツ、音楽、お菓子作り、創作活動等のレクリエーションを行った。月間予定表を作成し、実施した内容の記録をとるなど、プログラムの質の向上を目指した。

● ソフトボール大会への参加

5 月及び 10 月に小幡緑地西園球技場において、天白ワークス、レジデンス日進利用者と合同で大会に参加した。

● スポーツ大会 (小運動会)

6 月 21 日午後より名古屋市障害者スポーツセンター体育館において、家族会と合同で小運動会を行い、家族会やボランティアとの交流を深めた。

● プール活動

7 月から 9 月にかけて小グループにて、名古屋市障害者スポーツセンター室内プールを利用した。

● 夏まつり

夏期休暇前日に午後から、ゲームなどで楽しんだ。

● グループハイク

小グループによる日帰り旅行を 9～10 月、2～3 月と年間 2 回実施した。テーマパーク、水族館、カラオケ、工場見学、サーカス観賞等に出かけた。

● 家族交流会

11 月 8 日に利用者、家族会、ボランティア、職員間の親睦交流を目的として、日帰り旅行を実施した。名古屋市身障者福祉連合会福祉バスを利用し、犬山城周辺を散策し、

その後、会食をとおしてそれぞれの親睦を深めた。

● フットベースボール大会への参加

11月13日に鶴舞公園陸上競技場において、天白ワークスと合同チームで大会に参加した。

● 年末パーティー

12月25日午後から、音楽活動とゲームなどで楽しんだ。

(5) 地域貢献

5/26 高針台一丁目町内会一斉清掃

8月 極楽学区盆踊り大会協賛金協力

12/1 高針台一丁目町内会一斉清掃

レジデンス日進／ハートフルアクト日進

1. 各事業共通

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	下請他
平成 25 年度	846,077
平成 24 年度	537,219

(2) 作業内容

施設近隣の会社からの下請け作業（自動車部品の組立て、ガス器具の部品組立、水洗トイレの部品組立など）を主な作業（生産活動）として提供している。

(3) 利用者給与支給状況

年間総計で 743,980 円を利用者に還元している。内訳としては、生活介護事業対象者に夏期及び冬期の賞与一時金として 48,600 円、就労継続支援 B 型事業対象者は 695,380 円を支給している。

(4) レクリエーションプログラム・イベント

レクリエーションプログラムは生活介護を中心に行っている。イベントプログラムでは、季節ごとの企画として、お花見会 4/5、流しそうめん 7/5、スイカ割 8/26、クリスマス会・クリスマスバイキング 12/25、初詣 1/6、節分豆まき 2/3、等を実施。

ゴルフ大会招待観戦（中京テレビ・ブリヂストンレディースオープン）(5/24) に参加。

日帰り旅行として 9/25 に「鈴鹿サーキット」へ生活介護利用の方、10/4 に「日間賀島」へ就労継続支援 B 型利用の方が出かけた。

毎月、第 2 水曜日に和太鼓、第 4 金曜日に音楽療法をそれぞれ専門講師に来て頂いて実施している。

年に 2 回(5 月・10 月)に法人合同チーム(天白ワークス・はまなす)でソフトボール大会に参加している

(5) 地域交流

「レジデンスまつり（秋まつり）11/23」においては、野方地区の神楽囃子（お囃子）保存会の皆さんに来て頂いている。地域との交流を目的として、地元の子供から大人、利用者も一緒になっての交流を図っている。

日進市の障害者団体連絡会主催のクリスマス会(法人嘱託医中心のドクターズバンドのコンサート)に参加。12/8

又、個人のボランティアとして、日進市民生委員活動から継続して参加して頂いている。

(毎月第 2 木曜日、第 4 火曜日)

あじさいコンサート(日進市内の他事業所主催に協賛) 日進市民まつりに参加

(6) 地域貢献

大学・専門学校からの保育士実習を受入れている。隣接した日進西学童保育所、動作法グループ（つばさの会）、子育て支援グループ、地域の市民グループに「デイサービス 2 階」及び「地域交流スペース」の貸出しを実施している。

2. 就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業（定員 10 名）を日進市上ノ山の作業棟で生産活動(下請け作業が中心)を提供している。働くことの意味・工賃を意識していただけるよう支援した。また、毎月の工賃日には、近隣の中華料理店に昼食を食べに出かけている。中華店の皆さんとも顔なじみとなり、活動のメリハリや働く力、励みとなっている。

3. 生活介護事業

生活介護事業（定員 30 名）をデイサービス 1 階・2 階で行っている(利用者の個々の状況でグループ分けしている) 生産活動とレクリエーションプログラムと組み合わせて日中活動を展開している。健康促進の為、デイサービス 1 階は隣接している「三ッ池公園」を散歩、デイサービス 2 階は室内を 30 分間ウォーキングしている。また、デイサービス敷地の中庭で畑作業を不定期でおこなった（春にさつまいもを植え収穫、秋まつりの体験コーナーで使用した。秋にえんどう豆・イチゴを植えた。雑草抜きもおこなっている）

4. 地域活動支援事業 地域生活支援事業（市町村事業）としての「地域活動支援センター」事業は、定員 15 名。契約市町村は、名古屋市、日進市、長久手町、尾張旭市となっている。25 年度からは、生活介護の支給決定がある方は、レジデンス日進の生活介護事業利用へ移行していただいた。

* 参 考

	メイトウ・ワークス	天 白 ワークス	はまなす	レジデンス 日 進	法人全体
陶 芸	287,626	1,156,037			1,443,663
縫 製	1,960,396				1,960,396
焼き菓子		2,186,101			2,186,101
精 米		349,480			349,480
下請け他	365,614	904,749	118,830	846,077	2,235,270
計	2,613,636	4,596,367	118,830	846,077	8,174,910

H24 年度	2,883,730	4,997,486	140,265	537,219	8,558,700
H23 年度	3,836,240	5,153,928	133,845	138,600	9,262,613

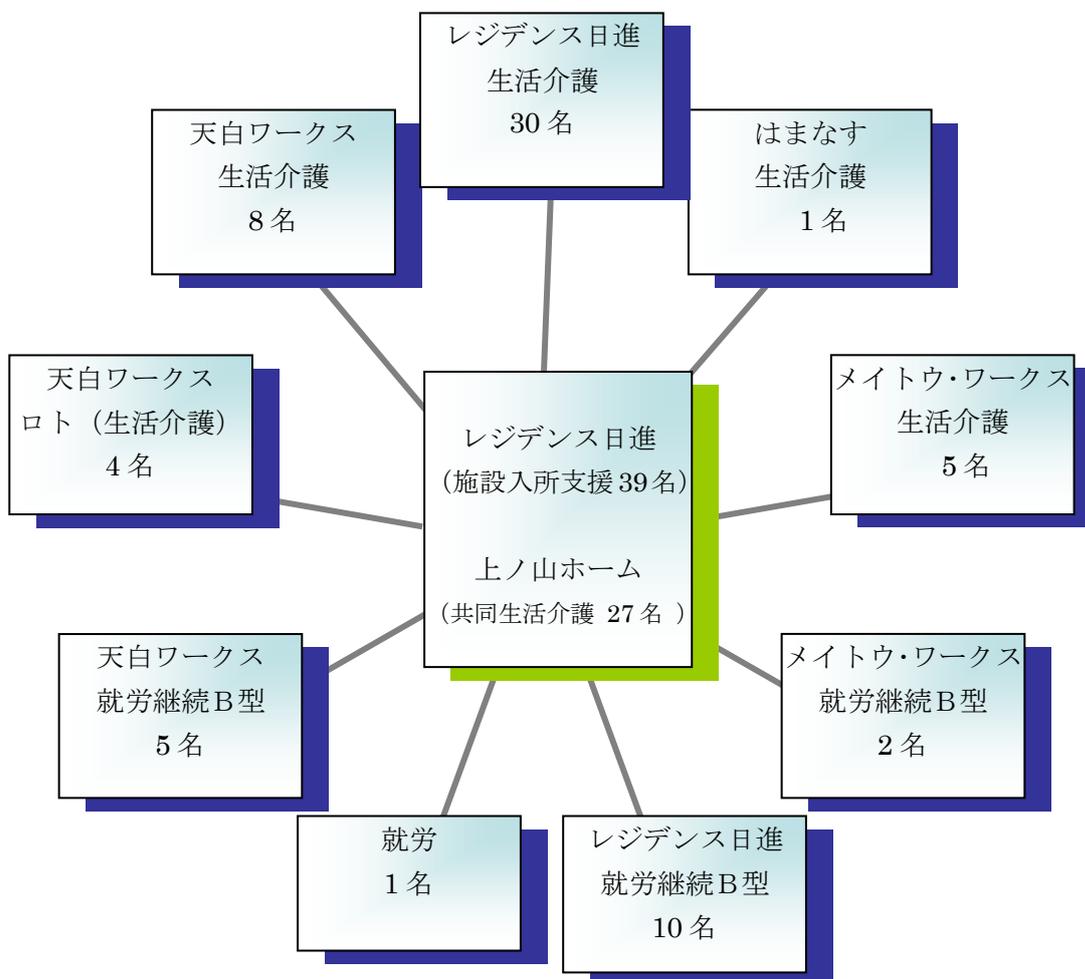
ナイトケア事業

名東福社会では、レジデンス日進を生活支援の拠点としてグループホームを展開しています。レジデンス日進の4つのユニットに加えて、上ノ山ホームもユニットと考え、ナイトケアのノウハウを生かすことで、安定したサービス提供を図ります。

今後、ナイトケア事業への期待は高まるばかりですので、健康で快適な生活の場を提供できる支援体制を創造していきます。

1. 生活の場と日中活動の場の連携

日中の活動場所が多岐に分かれる為、レジデンス日進及び上ノ山ホームと日中活動事業所との連携は不可欠になる。事業所の支援員間で利用者個々の様子・健康面等での伝達事項を積極的に共有するようにしている。



2. ナイトケア事業間の連携

施設入所支援及び、共同生活介護における職員配置は、レジデンス日進の職員を軸にシフト配置されている。また、法人の通所事業所の職員による夕方からの、生活支援（夕食・入浴など）を中心にバックアップの体制を継続している。

上ノ山ホームは、平成24年6月より増設（18名 2住居）合計定員を27名（3住居）になり、その為、より一層の連携が必要になっている。利用者の病時における通院支援は、看護師を中心にレジデンス日進職員及び必要に応じて、法人内職員でバックアップ体制をとり、緊急時に対応している。

3. ユニット単位の支援

レジデンス日進（施設入所支援）は1ユニット10名程度のユニット単位、同様に、上ノ山ホームでも1住居（ユニット）9名での生活支援を基盤にして個別対応を中心としたニーズの充足に留意している。特に、入浴は、各ユニット（住居）に浴槽2個を設置しており、毎日、個別に入浴している。また、共有スペースには、テレビ、テーブル、椅子等を配置して、朝、夕の食事はもとより、利用者がくつろげる空間としている。

4. 健康管理

レジデンス日進及び上ノ山ホームのナイトケア事業所における健康管理の重要性を踏まえ、看護師が中心となり、現場支援員との連携を図りながら取り組んでいる。

年2回（6/18、12/5）の定期健康診断を実施。個々の状態により毎日・毎週の体重・血圧測定を実施。又、訪問歯科検診（9/12）、インフルエンザ予防接種（11/11）を実施した。

生活習慣病予防対策として、対象利用者は毎朝（休日は除く）及び午後からの時間を利用して30分間のウォーキングを実施している。また、感染症対策（発症時の対応マニュアル整備）、通院支援として体調不良の利用者に対しての早めの医療機関への受診、精神科、歯科、眼科、皮膚科への継続受診も支援している。往診（月2回）を含め嘱託医を中心とした地域医療機関との連携に留意している。

利用者個別の「体調シート」を作成し、利用者の毎日の体調および傷や怪我の位置（入浴時にチェック）、状況を記入し、状態の把握・共有を図り適切な支援・介護に努めている。

また、緊急対応マニュアル（てんかん発作時の個別対応シート含む）は、各ユニットに設置している。夜間帯にも6名の職員が勤務しており、緊急時にも連携をとり、より早く対応できるよう努めている。（AED（自動対外式除細動器）を設置している。）

5. 防災対策

災害時用の備蓄（7日分）、緊急マニュアルの整備、避難誘導訓練をおこなっている

6. 金銭等の管理

レジデンス日進及びホーム利用者の財産管理について、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実を旨としておこなっている。年金及び現金管理をしている利用者には行政等の手続きの代行もしている。年金管理を家族、後見人等に任せている利用者には現金のみ事業所が預かり、管理している。

7. 季節行事

なつまつりとして8/26 夕食後にかき氷・花火をレジデンス日進・上ノ山ホームそれぞれで実施した。12月は、家族会からクリスマスの飾りつけ、クリスマス会12/25にはサンタクロースに扮してプレゼントを届けて頂いており、利用者を楽しませている。1/18お餅つき（利用者の還暦お祝いもおこなう3名）ご家族に協力していただく行事として、「はるまつり（たけのこまつり）4/27」「あきまつり（レジデンスまつり）11/23」を企画・実施している。

給食では年末・年始、節分・ひなまつり・端午の節句など時季に合わせた献立を考慮している。

児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業

児童行動療育センターは、平成 19 年 5 月に開所して以来、行動療法に基づくセラピーの場として活動してきましたが、平成 25 年 3 月をもって新規受け入れを中止しました。

平成 25 年度につきましては、在籍利用児のフォロー期間として 6 月までの 3 カ月間療育を実施しました。

1. 利用児童の状況 (P.7~10 利用者の状況参照)

平成 25 年 3 月末に在籍していた児童を対象に、フォロー期間として療育を実施いたしました。対象児は広汎性発達障害と診断された児童が大半を占め、コミュニケーションや社会性に課題を持つ児童が多くみられました。

2. サービス内容

人間の行動原理や学習理論に基づいた、行動療法によるセラピーを実施しました。

療育プログラムについては、ひとり一人の子どもに適したプログラムをスタッフが作成しますが、保護者にも参加していただき、保護者の相談や教育も行いました。

療育は個別療育を主として実施しましたが、小学校の普通級へ通う子どもの課題に対応するために、模擬授業形式の集団療育を実施しました。

種類(月、火、水、金)	内容	利用時間	定員	利用料金
通所療育①	個別療育	9:30~10:30	2名	約 1000 円/1 回
通所療育②	個別療育	11:00~12:00	2名	約 1000 円/1 回
通所療育③	個別療育	13:30~14:30	2名	約 1000 円/1 回
通所療育④	個別療育	15:00~16:00	2名	約 1000 円/1 回
通所療育⑤	個別療育	16:30~17:30	2名	約 1000 円/1 回
種類(木)	内容	利用時間	定員	利用料金
通所療育①	個別療育	9:30~12:00	2名	約 1000 円/1 回
通所療育②	個別療育	13:30~14:30	2名	約 1000 円/1 回
通所療育③	集団療育	15:00~17:30	6名	約 1000 円/1 回
家庭訪問	家庭訪問により児童や家族の支援・指導	9:30~17:30	月 2 回まで利用可	1 時間まで約 200 円 1 時間以上約 300 円

3. 関係機関との連携

事業所閉鎖に伴い退所する児童に対して、療育機関への引き継ぎを行いました。

また、利用児童が通園している保育士等の見学受け入れにより、支援内容についての提言等も実施しました。

また、法人内の成人利用者に対する支援についても、助言を行ってきました。

相談支援事業

名東福祉会は発足当初から、地域にお住まいの障害をもった方々の支援を積極的に行ってきました。当事者の意向に沿った地域生活支援の重要性は増すばかりですし、そのための地域ネットワークの構築は必須です。

平成 26 年 4 月から、名古屋市の相談支援体制が大きく変わり、従来の障害者地域生活支援センターは、障害者基幹相談支援センターに生まれ変わりました。名東区障害者地域生活支援センターも、名東区障害者基幹相談支援センターとして、総合相談や地域づくりといった拠点機能を担っていきます。

1. 相談業務

(1) 新規相談の状況

平成 25 年度の新規相談者実数、内訳等は以下の通り。相談受付作成分のみをカウントしている。前年度に始まった計画相談により、従来支援センターが抱えてきたケースを指定事業所が分担できるようになったため、支援センターはむしろ、サービスありきでない基本相談の充実を目指した。その結果、受付数が 7 割近く増している。

女性からの相談が顕著に増えているが、知的障害・発達障害の子どもをもつ母親からのものと思われる。このようなケースでは、母親自身も何らかの課題を有していたり、障害者手帳を保持していることも目立つ。また、匿名の相談を丁寧に受けた結果、性別や年齢が不明であるケースも増えている。

相談内容については、「サービス利用」「家族関係・人間関係」に関するものが例年通り多い。

【居 所】

	名古屋市内		市外		県外		計
	名東区	中村区	長久手市	岡崎市	富山県	秋田県	
相談者数	84	1	1	1	1	1	89

【年齢—性別】

	児童（～17歳）	成人（18歳～）	計
男	10	13	23
女	7	22	29
不明	9	28	37
計	26	63	89

【障害種別（複数カウント）】

種 別	身体	重症 心身	知的	精神	発達 障害	高次 脳機能	不明・ 無手帳
相談者数	24	4	43	8	14	0	14

【相談内容（複数カウント）】

	サービス 利用	障害・症状 の理解	健康・ 医療	不安解消・ 情緒安定	保育・ 教育	家族関係・ 人間関係
相談件数	74	33	27	13	9	41

家計・ 経済	生活技術	就労	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他
15	19	18	6	7	36

(2) 相談受付の状況（新規相談を含む）

平成 25 年度に関わった相談者数、内訳等は以下の通り。相談受付の作成までには至らなかったケースも含まれており、1 年間の相談支援実績そのものと言える。

前年度と比べ、6 割近く相談者の実人数が増えている。内訳を見ると、増加分のほとんどは成人からの相談となっている。性別や障害種別、相談内容から見ると、全体的に満遍なく増えていることが分かる。

平成 25 年 10 月で、障害者虐待防止法が施行後 1 年となったが、当センターが通報を受けたケースは年間 3 件となっている。区福祉課や保健所が虐待認定したケースについても、生活支援の立場から関わっている。

【居 所】

	名古屋市内				市外			県外			合計
	名東	千種	守山	中村	日進	長久手	岡崎	鳥取	富山	秋田	
人	289	1	1	1	1	1	1	1	1	1	298

【年齢—性別】

	児童（～17 歳）	成人（18 歳～）	計
男	23	120	143
女	12	74	86
性別不詳	17	52	69
小計	52	246	298

【障害別（複数カウント）】

種 別	身体	重症心身	知的	精神	発達障害	高次脳機能	不明・無手帳
相談者数	97	11	137	24	35	1	46

【相談内容（複数カウント）】

	サービス利用	障害・症状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
相談件数	187	66	71	45	14	91

家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他
42	49	42	14	23	94

(3) 月別実績

前年度に比べ、訪問や外来の件数が減少しているが、計画相談の開始によりそれまで関わりの必要であったケースを指定事業所で担当するようになった結果である。相談者の実人数の増加と合わせて考えると、地域ネットワークにつなげるまでの相談が委託相談支援事業所の役割として、明確になったと言える。

一方で、当センターも指定事業所として計画相談を行っているが、計画作成数、モニタリング回数ともに大きく増加している。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	訪問	13	14	13	17	6	11	5	11	9	10	12	4	125
	外来	36	28	26	38	23	26	45	31	15	40	35	34	377
担当者会議		3	7	5	4	1	2	2	2	4	1	1	2	34
認定調査		25	21	22	20	16	23	26	19	20	16	21	24	253
配食アセス		0	2	2	0	1	1	1	2	3	3	2	1	18
計画相談	案	2	1	2	0	2	0	2	3	3	0	2	2	19
	計画	1	4	1	1	0	2	2	2	1	4	0	2	20
	モニタ	2	2	7	6	6	4	3	6	4	4	2	3	49

2. 名東区障害者自立支援協議会

障害者自立支援協議会は、地域に暮らす障害をもった方々やそのご家族の抱える生活課題を、地域の様々な立場の方々が協働することによって解決していこうという仕組みである。名古屋市では各区ごとに協議会が設置されており、障害者地域生活支援センターがその運営を担っている。

7年目を迎えた名東区自立支援協議会では、防災を契機とした地域の見守り体制のあり方、事業所情報の発信、教育との連携といった課題が浮かび上がり、解決に向けた意見交換が行われた。また、地域とのつながりという点では、区内9学区の民生・児童委員協議会からの依頼を受けて、障害理解や関わり方についての学習会を行った。

平成26年4月から、地域支援の拠点として、各区に基幹相談支援センターが設置されるが、個別相談はもちろんのこと、協議会運営等を通じた地域づくりが大きな役割となると考えられる。地域課題の解決に向けて、様々な関係者の関わりが得られるような体制づくりを目指したい。

	実施年月日	会場	参加	内容
協議会	H25/4/26(金)	区役所	18名	区内の状況・昨年度報告・今年度計画
	H25/10/25(金)	区社協	12名	前期報告・制度動向・区内情報

運 営 会 議	H25/5/28(火)	区役所	9名	部会報告 区政運営方針 情報提供 事例共有	研修会企画
	H25/6/24(月)	〃	10名		障害児相談
	H25/7/26(金)	区社協	10名		研修会企画
	H25/8/28(水)	区役所	10名		あんしんカード、ポット
	H25/9/27(金)	〃	12名		本会のあり方
	H25/11/22(金)	〃	11名		基幹相談支援Cのあり方
	H25/12/27(金)	〃	13名		来年度に向けて
	H26/1/24(金)	〃	12名		制度動向・来年度に向けて
	H26/2/28(金)	〃	11名		〃 ・ 〃
	H26/3/28(金)	区社協	15名		〃 ・ 〃
事務局 会 議	H25/4/19(金)	区役所	8~10 名	計画相談 区政運営方針 事例共有	本会のあり方
	H25/5/24(金)	〃			研修会企画
	H25/6/27(木)	〃			障害児相談
	H25/7/19(金)	区社協			〃
	H25/8/23(金)	区役所			〃
	H25/9/20(金)	〃			本会のあり方
	H25/10/18(金)	〃			〃 ・ 講演会企画
	H25/11/15(金)	〃			基幹Cのあり方 ・ 〃
	H25/12/13(金)	〃			来年度に向けて ・ 〃
	H26/1/17(金)	〃			〃 ・ 基幹 C
	H26/3/14(金)	〃			〃
まもる 部 会	H25/4/16(火)	区役所	6名	事例検討	
	H25/5/13(月)	区社協	6名	〃	
	H25/6/18(火)	区役所	10名	〃	
	H25/7/25(木)	〃	10名	〃	
	H25/8/26(月)	〃	8名	〃	*助言者(すくすく園 熊谷園長)
	H25/9/30(月)	〃	8名	〃	
	H25/10/21(月)	〃	9名	〃	
	H25/11/28(木)	〃	8名	〃	
	H25/12/24(火)	〃	11名	〃	
	H26/1/28(火)	〃	12名	事例の近況・検討の経緯を整理	
	H26/2/27(火)	〃	10名	〃	
	H26/3/25(火)	〃	10名	〃	
し 部 会	H25/4/11(木)	名東 C	3名	区内事業所ガイドブック作成企画	
	H25/6/27(木)	〃	5名	〃	準備
	H25/8/20(火)	〃	6名	〃	
	H25/10/24(木)	〃	4名	〃	・情報共有シート
	H25/12/19(木)	〃	4名	〃	・サービス依頼票

	H26/2/20(木)	〃	4名	〃	・	〃
うごく 部 会	H25/5/15(水)	こいけ H	4名	バリアフリーマップ・ヘルパー情報		
	H25/6/18(火)	〃	4名	〃	〃	
	H25/7/23(火)	〃	5名	〃	〃	
	H25/8/20(火)	保健所	4名	〃	〃	
	H25/9/18(水)	名東 C	5名	〃	〃	
	H25/11/19(火)	〃	6名	〃	〃	
	H25/12/19(水)	〃	5名	〃	〃	
	H26/1/22(水)	〃	3名	〃	〃	
	H26/2/19(水)	〃	3名	〃	〃	
	H26/3/12(水)	名港水族館	4名	〃		
そだつ 部 会	H25/4/18(木)	ケルス	10名	事業所見学・近況共有・事例報告		
	H25/5/23(木)	ポップコーン	13名	〃	〃	
	H25/6/19(水)	あみきハウス	7名	〃	〃	
	H25/7/10(水)	喜怒哀楽	12名	〃	〃	
	H25/9/19(木)	あいらんど	10名	〃	〃	
	H25/10/22(火)	区役所	11名	近況共有・部会のあり方		
	H25/11/12(火)	ひまわりの風	9名	事業所見学・	〃	
	H25/12/10(火)	区役所	12名	近況共有・	〃	・障害児相談
	H26/2/18(火)	〃	12名	〃	・基幹 C	
H26/3/11(火)	〃	13名	今後の部会のあり方			
講演会	H25/11/30(土)	区役所	約200名	NPO む〜ぶ・かみさと主催「精神障害を理解するために」の後援		

3. 関係機関・団体との連絡調整会議／職員の講師派遣

県市や地域の関係機関との連携、相談支援体制整備への協力のため、外部会議への参加や研修講師依頼を積極的に引き受けている。25年度は特に、名古屋市において基幹相談支援センターのあり方が議論されたこと、計画相談の進捗に合わせた体制整備が県単位で行われたこと、相談支援専門員とサービス管理責任者の連携のあり方が模索され始めたことが特徴的であった。

会議名	実施日	参加機関等	内 容
連絡調整会議			
名古屋市障害者地域生活支援 C 連絡会	5/29,7/24,10/30 1/9,3/27	名古屋市担当課 市関係機関 各区支援 C	制度動向説明、市町村事業、支給決定事務、認定調査、テーマに沿った話し合いなど

名古屋市支援 C 東 ブロック会	7/5,10/3,3/10	中・昭和・千種・ 名東各区支援 C	情報共有、指定事業所連携、 市連絡会に向けて
名古屋市障害児相 談支援運営連絡部 会	12/5	千種・守山・名 東各区支援 C 指定相談事業所	障害児相談体制構築に向け て
愛知県障害者自立 支援協議会人材育 成部会	5/31,8/6,11/1,3/7	各領域の研修講 師の代表・学識 経験者	県主催・委託研修のあり方、 次年度への提言
なごや障害者就 業・生活支援 C 会 議	6/26	就・生支援 C 行政等関係機関	就業支援と生活支援システ ム構築の検討
名東区社協第 3 次 地域福祉活動計画	4/22,5/23,7/26 10/22,11/25,12/26	名東区内の地域 支援者、機関	地域づくりのための活動計 画検討
講師派遣			
名障連主任・中堅 研修（障害者ケア マネジメント）	6/29,7/17,8/30 10/30,11/18,12/4	名古屋市・名古 屋市知的障害者 福祉施設連絡協 議主催	名古屋市知的障害者福祉施 設連絡協議会主催の主任・中 堅職員を対象としたケアマ ネ研修。
名古屋市基幹相談 支援 C 研修	8/29	名古屋市・地域 生活支援 C 共催	基幹 C の H26 年度設置に向 けての制度理解、先進地域の 取り組みの把握
愛知県相談支援従 事者現任研修	7/31,8/2,5,21,22	愛知県主催	県内相談支援専門員の資格 更新研修
愛知県相談支援従 事者初任者研修	8/27,9/12,18 10/15,16,28 11/6,7,20,21 12/17,18	愛知県主催	県内障害福祉関係者の相談 支援専門員資格取得研修
愛知県相談支援従 事者専門コース別 研修	10/12,12/23,1/30 2/20,21,24,3/9	愛知県委託	セルフマネジメント・権利擁 護・成年後見制度・地域移行 定着、スーパービジョン
愛知県相談支援専 門アドバイザー派 遣事業	9/10,11/14,1/21,2/20 3/17	愛知県委託	計画相談・事例検討手法（南 知多・豊田・小牧）
法人・事業所内研 修	11/12,3/20	（福）あさみど りの会・杜の家	地域福祉と法人事業・事業所 の取り組みの振り返り
相談支援体制整備	12/14	半田市・田原市 合同研修	人口規模による相談支援体 制整備のあり方
ケアマネジメント 連携実践研修	1/9,10	（独）福祉医療 機構助成	相談支援専門員とサービス 管理責任者の連携のあり方

4. 職員研修

名古屋市主催の研修を中心に参加し、スキルアップを図った。平成 26 年度からの法制度改正に即した研修も行われた。

名 称	実施日	内 容
「名古屋市の相談支援体制をみんなで一緒に考えよう」	8/29	基幹 C の H26 年度設置に向けての制度理解、先進地域の取り組みの把握
名古屋市障害者相談支援従事者研修会	12/12	岡崎医療刑務所の見学
愛知県相談支援従事者専門コース別研修（障害児相談）	12/13	事例を通じた障害児利用支援計画作成のあり方
名古屋市高齢者・障害者虐待職員研修	1/15	人格障害への対応・保健所の業務理解
重症心身障害児（者）医療療育推進講演会	1/18	重症心身障害児者の地域ケアを展開する医療法人の取り組み
幼児期の発達と保育	2/21	1～2 歳期の発達理解・事例検討
愛知県障害支援区分認定調査員研修	2/26	制度概要の理解・マニュアルのポイント
改正精神保健福祉法に関する業務従事者研修	3/28	制度概要・医療、福祉領域に求められる取り組み

サービス品質の向上を目指した取り組み

名東福祉会は、提供するサービスの品質管理を法人全体で行いたいと考えています。障害福祉を取り巻く環境の変化はまだまだ続きますが、法人・事業所の特色を生かしながら、利用者に満足していただけるサービスの提供を目指していきます。

そのためにも、人材育成やサービス改善の仕組みは必須です。

1. 委員会

【安全委員会】

(1) 目的

日常の支援において起こりうる事故・怪我・医療・看護・衛生を想定し、安全を確保するための考え方や具体的な方法を検討し、実践場面での判断・対応に結び付けていく。

(2) 構成

参加希望職員 4 名、本部長

(3) 活動報告

- 5/24 ヒヤリ・ハット事例検討
- 6/28 ヒヤリ・ハット事例検討
- 7/27 ヒヤリ・ハット事例検討
- 8/23 ヒヤリ・ハット事例検討
- 9/20 ヒヤリ・ハット事例検討
- 10/25 ヒヤリ・ハット事例検討
- 12/27 ヒヤリ・ハット事例検討
- 2/28 ヒヤリ・ハット事例検討
- 3/28 次年度の委員会のスタイルについて

(4) 成果等

前年度に引き続き、法人職員から挙げられたヒヤリ・ハット事例の検討を繰り返しおこなった。検討を重ねることにより、法人のヒヤリ・ハット事例が次の 4 つに分類できるのではないかということから、検討の際には、まず、分類作業から始めるという流れを作ることができた。

1. 備品などの管理に対する職員の不注意、事業所の管理体制の問題
2. 目に見える事故
3. 接遇的な問題
4. 利用者の理解や職員の連携不足による目に見えない問題

また、分類作業を取り入れたことにより、『安全』とは、他の 2 つの委員会で検討されている接遇的な問題、利用者の理解といった内容と関係が深いことが確認できた。

【安心委員会】

(1) 目的

利用者が安心して利用できるプログラムを提供するために、利用者の行動を利用者の視点から理解することを目指し、アセスメント技術の向上に取り組む。

また、アセスメントに基づいた支援を実施するために、アセスメントに基づいた支援計画を支援員で共有し、統一された支援を実施することの重要性について確認する。

(2) 構成

各事業所希望職員（6名）

(3) 活動報告

- 4/11 天白ワークス「支援の程度について」
- 4/20 レジデンス日進「利用者の注目獲得行動について」
- 5/14 天白ワークス「自閉症の特性と支援のポイント」
- 5/18 レジデンス日進「環境整備」
- 6/13 天白ワークス「利用者の満足について」
- 6/15 レジデンス日進「行動の原因」
- 7/20 レジデンス日進「日中活動と生活の場の情報共有」
- 8/17 「利用者とのコミュニケーション」
- 9/21 「こだわり行動」
- 10/24 「多動について」
- 11/16 「視覚刺激が強い方への対応 1」
- 12/21 「視覚刺激が強い方への対応 2」
- 2/15 「視覚刺激が強い方への対応 3」
- 3/15 「視覚刺激が強い方への対応 4」

(4) 成果等

行動分析学を参考に、利用者の行動を支援者の視点ではなく、利用者の立場から捉えることにより、支援者自身の支援行動を見直す機会となった。

また、支援の質の向上のためには、支援者の支援を含めた環境改善が必要であり、そのためには正確なアセスメントに基づいた支援計画を作成し、統一された支援が提供されることが重要であることを確認できた。

【接遇委員会】

(1) 目的

事業所においてサービスを提供する上での「接遇」のあり方について検討し、改善提案を行うことを目標として開催。実際には、狭義の「接遇」に留まらず、利用者と支援者の関係性の振り返りやその背景にある制度理解までも含めて取り組んだ。

(2) 構成

各事業所希望職員（8名）・名東区障害者地域生活支援センター

(3) 活動報告（検討テーマ）

年月	検討テーマ
H25.4	「伝える」（会議、記録のあり方）
5	「生活介護とは」

6	個別支援計画の考え方
7	〃 (メイトウ・ワークスの事例の検証)
8	〃 (天白ワークスの事例の検証)
9	〃 (はまなすの事例の検証)
10	〃 (メイトウ・ワークスの事例の検証)
11	〃 (天白ワークスの事例の検証)
H26.1	権利擁護
2	個別支援計画の考え方 (はまなすの事例の検証)
3	障害者福祉の基礎知識

(4) 成果等

事業所における「接遇」を考えると、漠然としたイメージで話し合うことには限界がある。そのため、具体的なケース検討を通して、支援の基本となる「個別支援計画」を作成するときに、どのような視点が必要なのかを話し合った。

また、「接遇」あるいは「利用者と支援者の関係性」を理解するためには、基礎的な制度理解や、障害についての知識を再確認する必要があるのではないか、という声が委員よりあがった。それを受けて随時、研修のような形式で委員会を開催した。

今後は、委員会から日々の支援へのフィードバックを確認しながら、「接遇」の視点の重要性を共有できるようにしていきたい。

【給食委員会】

(1) 目的

提供される給食の安全管理と品質向上のための検討をおこなうとともに、楽しく食事ができるよう環境整備をおこなう。

また、委託業者と法人が『よりよい食事サービスの提供』という共通の目標を常に確認する。

(2) 構成

法人：事業所支援員各1名、本部長、レジデンス日進所長、栄養士

委託給食業者：エリアマネージャー1名、管理栄養士2名

(3) 活動報告

毎月第2水曜日に実施

- ・ 前月の食事提供内容の確認
- ・ 利用者個別対応の検討（健康、アレルギーを考慮した提供）
- ・ 季節感を重視した食事提供、イベント食等、楽しめる食事提供の提案
- ・ 適温食の提供検討
- ・ 衛生面の検討
- ・ 感染症対応の検討

(4) 成果等

検食表等を有効活用することにより、各事業所から前月の食事提供内容について丁寧な報告が挙げられ、次月以降の献立等に反映させていくという話し合いのスタイルが確立されてきている。

ただし、具体的内容については、量・好みに偏ってしまう傾向があり、栄養面に関する検討には至っていない。

また、法人側から委託業者への改善要求といったイメージもあり、今後の課題として、法人側の栄養士を中心として、改善提案をしていけるような状況を作っていきたい。

2. 法人職員研修

【マネージャー研修】

(1) 目的

法人事業所の所長・副所長を対象に、法人理念に沿った事業所の運営管理について、参加者の意見交換を通じて整理し、改善行動に活かすことを目的として開催。会議進行の研修としても位置付けている。

(2) 構成

各事業所所長・副所長（10名）、本部長

(3) 活動報告（検討テーマ）

年月	検討テーマ
H25.4	今後の法人経営と事業所管理
5	法人・事業所の活性化
6	虐待通報事例の検討
7	就労継続支援 B 型事業のあり方
8	法人内の人材育成①
9	〃 ②
10	〃 ③
11	個別支援会議・計画のあり方
12	法人内事業所交流研修報告
H26.1	監査結果を受けて
2	各事業所における防災の取り組み

(4) 成果等

25年度は、法人・事業所の活性化というテーマから人材育成のあり方についての議論を行い、結果として副所長による法人内事業所間での交流研修の実施につなげることができた。日常業務に忙殺されがちではあるが、2週間の人事交流により、各事業所の長所や成果、課題や改善方法を整理することができ、実りの多い研修となった。

また、虐待通報事例を通じた虐待対応プロセスの確認、個別支援会議の実施や計画作

成についての事業所間のノウハウの共有など、そのときどきの問題意識を話題とすることで、事業所管理に役立ててもらった。

法人・事業所のマネジメントを考えると、人材育成や管理のあり方はその根幹を成すものと言える。今後も継続的に取り組んでいきたい。

3. 機関誌「WORKS」編集部

法人機関誌「WORKS」を発行。事業の紹介や制度動向、関連領域の話題を通じて、障害福祉サービスのあり方を提言していく。

法人利用者、職員、後援会員、関係団体等に配布・送付している。

No.132 (7月発行)

「『仮想通貨メイト』の取り組みについて」 統括本部長 山田達巳

「本人の『強み』に目を向けてみよう」 理事長 加藤久和

No.133 (2月発行)

「名東区障害者基幹相談支援センターの出発に際して」 理事長 加藤久和

施設・事業所 一覧

社会福祉法人 名東福祉会 (昭和 56 年 8 月 認可)

法人事務センター 〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4

TEL(052)805-1003 FAX(052)805-1004

法人ホームページ <http://www.meito.or.jp/modules/sections/>

種 別	名 称	住 所	電話番号	FAX 番号	E-mail
生活介護 就労継続 B 型	メイトウ・ワークス	〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303	(052)702-2863	(052)701-2079	meitoworks@meito.or.jp
相談支援	名東区障害者基幹 相談支援センター	同 上	同 上	同 上	同 上
生活介護 就労継続 B 型	天白ワークス	〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327	(052)804-5487	(052)804-5416	tenpaku@meito.or.jp
生活介護 相談支援	はまなす	〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911	(052)704-7551	(052)704-7552	hamanasu@meito.or.jp
施設入所支援 生活介護 就労継続 B 型	レジデンス日進	〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4	(052)805-1003	(052)805-1004	nissin@meito.or.jp
地域活動支援 センター	ハートフルアクト 日進	同 上	(052)805-1012	同 上	同 上
グループ ホーム	上ノ山ホーム	〒470-0124 日進市浅田町上ノ山 12-1	(052)808-4878	(052)808-4878	